

科目名	臨床検査総論実習 (Practice in Laboratory Medicine)			科目コード	415
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(45時間)
科目区分	専門科目	履修時期	2年次後期	関連DP	臨③⑤
担当教員	祇園 由佳、藤井 萌				
授業概要	臨床検査技師としての実務経験を有する教員が、各種検査の正確な操作と判定法、干渉物質の影響などについて教授する。また、シミュレーターを用いての採血方法について教授する。				
授業目標	臨床検査総論の講義で学んだ各種検査の原理と意義を理解した上で、それら検査の正確な操作と判定ができることを到達目標とする。				

授業計画

回	項目	内容
1～2	尿検査(1)	尿試験紙法の手技・判定方法を学び、検査結果の解析と評価
3～4	尿検査(2)	尿比重検査(試験紙法・屈折法)、尿蛋白定性検査(試験紙法、煮沸法、スルホサルチル酸法)
5～6	尿検査(3)	尿糖検査(試験紙法・ベネディクト法)、アスコルビン酸の影響、尿潜血反応(試験紙法)
7～8	便検査、妊娠反応	便潜血反応等の検査法の手技と判定方法を学び、検査結果の解析と評価 妊娠反応検査の原理と評価
9～10	尿沈渣(1)	標本作製方法・無染色標本(生標本)とステレンハイマー染色標本の鏡検
11～12	尿沈渣(2)	赤血球・白血球・扁平上皮・移行上皮・尿細管上皮細胞の形態と報告方法、各種円柱・結晶などの形態と報告方法
13～14	尿沈渣の判定・評価	尿沈渣標本中の各成分の判定を行い、検査結果の評価
15～16	脳脊髄液、穿刺液検査	標本作製方法・各種細胞判定と報告方法を学び、検査結果の解析と評価
17～19	喀痰検査 各種検査における検体採取	経口・経鼻または気管カニューレ内部からの喀痰吸引による標本作製方法と検査報告 咽頭ぬぐい液の採取、皮膚表在組織病変部からの検体採取
20～21	採血実習(1)	標準採血法ガイドラインに沿った採血手順の確認
22～23	採血実習(2)	採血シミュレーターを使用
成績評価方法	レポート・スケッチ(60%)、筆記・確認試験(40%)	
教科書	初回実習時に、実習書と参考資料を配布する。	
参考図書等	日本臨床衛生検査技師会「JAMT 技術教本シリーズ 一般検査技術教本」(丸善出版) 三村邦裕・宿谷賢一「最新 臨床検査学講座 一般検査学」(医歯薬出版)	
授業時間外の学習について	実習前には各検査項目の予習を行い、復習として課題のレポート作成を行う。	
関連科目	414 臨床検査総論⇒本科目⇒446 臨地実習Ⅲ	
備考	実 祇園：臨床検査技師(医療機関) 白衣と色鉛筆を用意すること。	

臨床検査学科  
(2カリ)